

繁藤月報

〒789-0583

高知県香美市土佐山田町平山1748

天理教繁藤大教会

TEL 0887-57-9207 / FAX 0887-57-9246

近頃ようやく秋めいて繁藤も朝晩が涼しくなり、気持ちの良い季節になってきました。昨年から大教会で取り組んでいる稲田も美しい黄金色に輝いています。ただ、九月末に訪れた台風によつて、田んぼの一部で稲が倒れてしまいました。この現象を「倒伏（とうふく）」と呼ぶそうです。いつも稲作のアドバイスをいただいている近所の農家さんからこんなことを言われました。

「稲が倒れたら、すぐに世話してあげないといけないよ。稲穂が水に浸かってしまうと、稲が発芽してしまって、とても食べられる米でなくなっちゃうから。」

そこで教えてくれた対処の仕方は、稲を3束以上で束ねてあげて自立させてあげるといふものです。本部の月次祭で大教会を留守していた私に変わって、ある大教会役員（通称もっちゃん）が、その対処をしてくれました（本当に心強い）。しかも、ちょうどその稲が倒れたところは、今年の五月に少年会のみなどと一緒に田植えをした範囲でした。なんとか全滅を免れたようなので、ホッとしました限りです。

なぜ一部のエリアだけ倒伏してしまったのかと疑問に思い、いろいろ調べてみると、いくつかの原因が見えてきました。一つは肥えのあげすぎで、稲穂が実りすぎで重さに耐えられなくなつたこと。そしてもう一つが、中干しといつて梅雨明けにあえて水を抜き、地面を乾燥させることによつて根の活力が増加して、しっかりと大地に根を張るといふことができていなかったことです。

肥えのあげ方一つにしても、季節ごとの手入れにしても、なかなか奥が深いものです。当たり前ですが、ほつておいても勝手に育つというのではなく、状況や旬に応じて適切な丹精をしなければ、美味しいお米は収穫できません。お道の教えはよく農業に喩えてお教えいただいています。なるほど子育てや人材育成に関しても通づるものがあると気付かされます。まだまだ稲作も二年目、会長を拝命してまだ半年。天然自然の理を肌で感じながら、先の往還道を楽しみに歩んでいきたいとあらためて思いました。

いよいよ今月三十日に御礼団参を迎えます。「肥えは声」と教えていた

く通り、お互いに声をかけあつて、この旬に一人でも多くの方と共におちばに帰らせていただきましょう。

立教百八十五年十月一日

天理教繁藤大教会長

坂本輝男



【主教百八十五年九月月次祭 祭文】

これの繁藤大教会の神存にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教
繁藤大教会会長坂本輝男慎んで申し上げます。

親神様には、子供可愛、一条の親心から、昼夜分かたずお見守り下され、陽気
ぐらしへとお連れ通り下さいます限りなき御守護の程は、誠に有難く、勿体な
い限りでございます。

私共は、かしもの・かりものの中、限りなき親心に包まれて生きる喜び
を胸に、思召に添い切らせて頂けるよう日々心の成人に努め、たすけ一条の御
用に励ませて頂いておりますが、その中にも今日の良き日は、これの繁藤大教会
に御許し頂いております月々の御祭日でございますので、只今から、おとめ奉仕
者一同心を揃え、陽気に座りつとめ、てをどりを勤めて九月の月次祭を執り行
わせて頂きます。御前には、今日を楽しくみに寄り集った道の子たちが、ともに朗
らかにおうたを唱和し、日頃賜る厚きお恵みに御礼申し上げ、尚一層の成人
をお誓いさせて頂きます。

社会が混乱し、人々が生きる指針を探す現代において、かく親神様にお頼り
する状を御覧下さいまして、何卒この上ともに温かき親心を賜り、一列の心澄
みわたり互いに助け合、明るい世の状にお導き下さいますよう、一同と共に
慎んでお願い申し上げます。

《繁藤大教会立教百八十五年 九月月次祭祭典役割》

祭主	指図	扠者	扠者	賛者	座りつとめ	男		女		地方	笛	チャンポン	拍子木	太鼓	すりがね	小鼓	琴	三味線	胡弓	神殿講話											
						大教会会長	空閑一将	伊藤正福	前大教会長												大教会長夫人	前会長夫人	黒石伸子	坂本喜子	佐藤栄治	宮田孝道	川田節夫	佐藤栄治	宮田孝道	藤田憲明	村上英士
秋月真一郎	立花真一郎	佐々木恵	佐藤成彦	前田豊	田村省悟	てをどり前半	てをどり後半	宮田まゆみ	武市まち子	村上育与	坂本喜子	村上由高	土居道久	佐藤成彦	藤田善典	空閑慶吾	藤田善典	黒石美佐	佐藤明子	空閑都	為田賢子	宮田孝道	宮田善典	藤田善典	村上由高	空閑慶吾	藤田善典	藤田洋美	村上美栄子	佐藤明子	坂本久徳

【神殿講話】

(十月) 増野道太郎先生

(教会本部准員)

【修養科生並びにおさづけの理拝戴者講話】

(十月) 為田紀久男

【教会長神殿当番】

(十月) 紋別・本訓・紋膽

(十一月) 中土佐・高杉・細島

【詰所教養掛】

(十月) 田村省悟

(十一月) 空閑慶吾

【詰所事務掛】

(十月) 渡辺朝之

(十一月) 藤田誠

【ひのきしん】

○婦人会詰所ひのきしん

十月二十五日～二十六日(未定)

創立百三十周年記念祭・七代会長就任奉告祭御礼団参

令和四年十月三十日

【本部巡教】

今月、ご本部の秋季大祭後に、教祖百四十年祭に向けての論達をご発布下さいませ。それを受けまして、ご本部より論達巡教を受けさせて頂きます。日程・巡教員先生は左記の通りでございます。万事繰り合わせの上、十一月の月次祭にはご参拝下さいませよう、よろしくお願い申し上げます。

記

日時 十一月二十一日(月) 祭典終了後

巡教員 山本忠治先生

(本部員・城法大教会長)

【五季づとめ】

今月は五季づとめの月ですので、左記の通り上級の教会を通してお納め下さいますようお願い申し上げます。

記

一、五季づとめ 三、五〇〇円

【おぢばがえり御礼団参】

来る十月三十日、「創立百三十周年記念祭・七代会長就任奉告祭おぢばがえり御礼団参」を行います。詳細につきましては、同封のチラシ及び別紙(御礼団参について)を御覧下さい。

【婦人会】

○「みちのだいおはなし会」

左記の日時で「みちのだいおはなし会」が開催されます。

日時 十月二十六日（水）午後一時～二時

場所 東講堂

講師 西澤 衣子 先生（本芝支部会員）

河内 恭子 先生（岡山支部会員）

・お子様連れでの入場はお控え下さい。（託児はありません）

・椅子席はありません。

・会場にて昼食をとることはできません。

・必ず不織布マスクを着用して下さい。

○ユーチューブで配信開始

題名「みちのだいチャンネル」

”聞くほどこに やさしくなるはなし”

※月に2回配信予定



【少年会】

○少年会本部委員会が九月二十五日に更迭され、18期委員会（西田委員長）から19期委員会（田辺委員長）に交代をされました。

○研修員第41期生募集

出願資格 団長が推薦し、直属教会長が認めた者

ようぼく

（研修期間中におさづけの理を拝戴する者も可）

出願期間 令和4年9月26日～令和5年2月28日（必着）

研修期間 令和5年3月26日～令和6年3月26日

※推薦書、履歴書、レポートを少年会本部庶務課まで提出

○新教材「なりもの練習に役立つリズムあそび」

この教材は、初めて鳴物をさわるお子さんや鳴物の拍子がうまく取れないお子さん、そんなお子さんたちに、拍子木やちゃんぼん、すりがねなどの拍子の感覚を、リズム遊びを通して楽しみながら身に付けてもらいたい、そんな思いから開発致しました。

内容は、鳴物練習に役立つリズム遊びの実技を実際に子供たちと一緒にしている映像や実技の解説に加えて、各鳴物の紹介や「なぜおつとめをつとめるのか」おつとめの説明をイラストを用いて分かりやすく伝えられるような映像を収録しています。

DVDは少年会本部にて頒布しています。また、チラシのQRコードを読み取って頂くか、少年会本部のHPからもご視聴頂けます。



それぞれのニーズに合わせて、教会やご家庭で、またおつとめ総会に向けての練習などで「リズム遊び」を通して子供たちと一緒に楽しく遊びながら、鳴物練習の一助として、ぜひご活用下さい。

○お年玉教材

ピッキー&フレンズ

クーピーペンシル12色

頒価 400円



【よふぼく・信者情報の確認リスト提出のお願い】

先般、各教会へ配布致しました確認リストは、「よふぼく・信者情報の現状確認についてお願い」をご参照の上、転籍・転住・改姓などの変更箇所を訂正（赤ペン等）いただき、至急大教会までご提出下さいますようお願い致します。

【おぢばがえり定期便】

左記の日程と旅費で、どなたでもご利用いただける月次祭参拝の定期便を設けます。ご利用希望の方は、毎月二十日までに大教会（為田）までご連絡ください。

毎月 二十五日 午前8時30分 大教会出発予定

二十六日 午後2時 詰所出発予定

費用 片道4000円

※都合により時間の変更がありますので予めご了承ください。

【初席者（八月）】

11月21日 教祖140年祭 諭達 本部巡教

山本 忠治 先生 (本部員・城法大教会長)

【修養科修了生（九七三期）】

添 田 田 中 太 成
田 久 生 橋 口 秀 昭

立教百八十五年活動方針

創立百三十周年記念祭・七代会長就任奉告祭に向けて

《信仰の元一日に立ち返ろう》

活動方針

(三年間を通じ)

『人々のたすかりを願ひ、
陽気ぐらしの輪を広げよう』

実働項目

- おつとめ
 - ・朝夕に神様に手をあわせよう
- にをいがけ・おたすけ
 - ・悩める人に耳を傾け、寄り添う
- 陽気ぐらしの実践
 - ・親孝行、夫婦仲良く、陽気ぐらし

三年千日活動

- ・本部月次祭に参拝し、おぢばの理を戴こう
- ・ブロック活動
 - にをいがけ、ひのきしん、バザー、物々交換、お楽しみ行事を通じて、友だちを誘い参加してもらおう